

Pure-P セッションと Collapsed セッションのデフォルトおよび専用ベアラーのサポート

- マニュアルの変更履歴 (1ページ)
- 機能説明 (1ページ)

マニュアルの変更履歴



ジリリース 21.24 よりも前に導入された機能については、詳細な改訂履歴は示していません。

改訂の詳細	リリース
初版	21.24 より前

機能説明

コミットされた帯域幅リソース、ジッター、および遅延の要件に従って、さまざまなサービスやアプリケーションクラスの確定的なエンドツーエンド転送とスケジューリング処理を可能にすることで、Quality of User Experience(QoE)の向上に貢献するための基盤を提供します。その結果、各アプリケーションが、ユーザーが期待するサービス処理を受け取ります。

Cisco EPC コアプラットフォームは、1 つ以上の EPS ベアラー(デフォルトと専用)をサポートします。EPS ベアラーは、GTP ベースの S5/S8 インターフェイスの場合は UE と P-GW の間で、PMIP ベースの S2a インターフェイスの場合は UE と HSGW(HRPD Serving Gateway)の間で実行される 1 つ以上のサービスデータフロー(SDF)の論理的な集約です。GTP が S5/S8 プロトコルとして使用されるネットワークでは、EPS ベアラーは、P-GW にアンカーされた無線ベアラー、S1-U ベアラー、および S5/S8 ベアラーの組み合わせで構成されます。PMIPv6 が

使用される場合、EPS ベアラーは、HSGW と P-GW 間の IP 接続を使用して、UE と HSGW の間で連結されます。

EPS ベアラーは、GTP ベースの S5/S8 設計では UE と P-GW の間で、PMIPv6 S2a アプローチでは UE と HSGW の間で、共通の QoS 処理を受信するトラフィックフローを一意に識別します。サービスデータフロー間で異なる QoS スケジューリングの優先順位が必要な場合は、別々の EPS ベアラーに割り当てる必要があります。パケットフィルタは NAS 手順でシグナリングされ、PDN 接続ごとに一意のパケットフィルタ ID に関連付けられます。

1 つの EPS ベアラーは、UE が PDN に接続するときに確立され、PDN 接続のライフタイム全体にわたって確立されたままになり、その PDN への常時接続の IP 接続が UE に提供されます。このベアラーは、デフォルトベアラーと呼ばれます。 PDN 接続は、モバイルアクセス端末と、IMS ネットワーク、ウォールド ガーデン アプリケーション クラウド、バックエンド企業ネットワークなどの外部パケットデータネットワーク(PDN)との間のトラフィックフロー集約を表します。同じ PDN に対して確立された追加の EPS ベアラーは、専用ベアラーと呼ばれます。 EPS ベアラーのトラフィック フロー テンプレート(TFT)は、特定の EPS ベアラーに関連付けられたすべての 5 タプルパケットフィルタのセットです。 EPC コア要素により、確立された EPS ベアラーごとに個別のベアラー ID が割り当てられます。ある時点で、UE は 1 つ以上の P-GW 上にある複数の PDN 接続を持つことができます。

この機能により、UDP、TCP、およびHTTPデータは、デフォルトおよび専用ベアラーの fastpath にオフロードされます。

サポートされる機能

Pure-P およびコラスプセッションの場合:

- 1. デフォルトのベアラー確立には以下が含まれます(CCA-I)。
 - •ルールを使用した場合と使用しない場合のデフォルトのベアラー確立。
 - 事前定義されたルール/ルールグループ(GoR)。
- 2. デフォルトのベアラー更新には以下が含まれます(CCA-U/RAR)。
 - 新しいルールのインストール。
 - ・既存のルールの変更(TFT の変更、MBR/GBR の変更、フローステータスの変更)。
 - 既存のルールの削除。
 - ・デフォルトベアラー QoS の変更
 - APN-AMBR の変更。
 - ・事前定義されたルール/GoR。
- 3. デフォルトのベアラー削除には以下が含まれます(CCA-U/RAR)。
 - 既存のルールの削除。

- **4.** 専用ベアラーの確立には以下が含まれます(CCA-I/CCA-U/RAR)。
 - •新しい専用ベアラーの確立。
 - 事前定義されたルール/GoR。
- 5. 専用ベアラーの更新には以下が含まれます(CCA-U/RAR)。
 - インストール済みの専用ベアラーに新しいルールを追加。
 - 既存のルールの変更 (TFT の変更、MBR/GBR の変更)。
 - 既存のルールの削除。
 - ルールの QCI の変更。
 - 事前定義されたルール/GoR
 - 専用ベアラーを介した ADC の基本サポート
 - 専用ベアラーのアイドルモードからアクティブモードへの移行(SAEGW、DDN)の サポート。
- 6. 専用ベアラーの削除には以下が含まれます。
 - MME/PCRF および **clear subscribers imsi** *imsi_id* **ebi** *ebi_id* CLI コマンドによる専用ベアラーの削除。
- **7.** ユーザープレーンでの Pure-P および Collapsed セッションのリカバリ中に、ユーザープレーンの課金データがリカバリされます。
- **8.** MME および eNodeB のハンドオーバー (HO) :
 - Pure-P コールタイプ:
 - Gxの新しいポリシー(作成、更新、削除、および作成、更新、削除の任意の組み合わせ)がある場合とない場合の MME と eNodeB の HO。
 - Collapsed コールタイプ:
 - Gx の新しいポリシー(作成、更新、削除)がある場合とない場合の MME と eNodeB の HO。
- 9. S-GW のハンドオーバー (HO):
 - Pure-P から Pure-P への HO:
 - Gxの新しいポリシー(作成、更新、削除、および作成、更新、削除の任意の組み合わせ)がある場合の専用ベアラーを使用または使用しない Pure-Pから Pure-Pへの HO。
 - HO 中に削除対象のマークが付けられたベアラーによる Pure-P から Pure-P への HO。

- Collapsed から Pure-P および Pure-P から Collapsed への HO:
 - Gx の新しいポリシー (新しいルールのインストール、デフォルトのベアラーQCI の変更、ルールの更新、ルールの削除) がある場合の専用ベアラーを使用しない Collapsed から Pure-P および Pure-P から Collapsed への HO。
 - Gx の新しいポリシーがある場合とない場合の専用ベアラーによる Collapsed から Pure-P および Pure-P から Collapsed HO への HO。

制限事項

このリリースでは、次の機能はサポートされません。

- ・デフォルトベアラーにインストールされているダイナミックルールの優先順位の更新。
- デフォルトベアラーおよび専用ベアラーにおける、ルールの時間ベースのアクティブ化と 非アクティブ化。
- コリジョン処理はまだサポートされていません。
- コリジョンは、PCRF からの制御メッセージとアクセス側からの制御メッセージ間で発生する可能性があります。PCRF が開始する単一のメッセージ(CCA-U/RAR)内の複数の手順により、制御外のコリジョンが発生します。たとえば、同じ RAR 内のあるベアラーの作成と別のベアラーの削除などです。
- ・セッション中の ADC ルールの更新や変更(設定の変更または RAR を介した PDN 更新) はサポートされていません。
- MME および eNodeB のハンドオーバー (HO) :
 - Pure-P コールタイプ:
 - HO 中に発生した障害処理またはコリジョン。
 - Collapsed コールタイプ:
 - Gx からの新しいポリシー(作成、更新、および削除の任意の組み合わせ)を含む MME および eNodeB のハンドオーバー。
 - HO 中に発生した障害処理またはコリジョン。
- S-GW のハンドオーバー (HO) :
 - Pure-P から Pure-P への HO:
 - HO 中に発生した障害処理またはコリジョン。
 - ベアラーEBIが変更されないように、専用ベアラーにインストールされたダイナミックルール QCI の変更。
 - Collapsed から Pure-P および Pure-P から Collapsed への HO:

• HO 中に発生した障害処理またはコリジョン。

制限事項

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。